

耐震補強工事の流れ

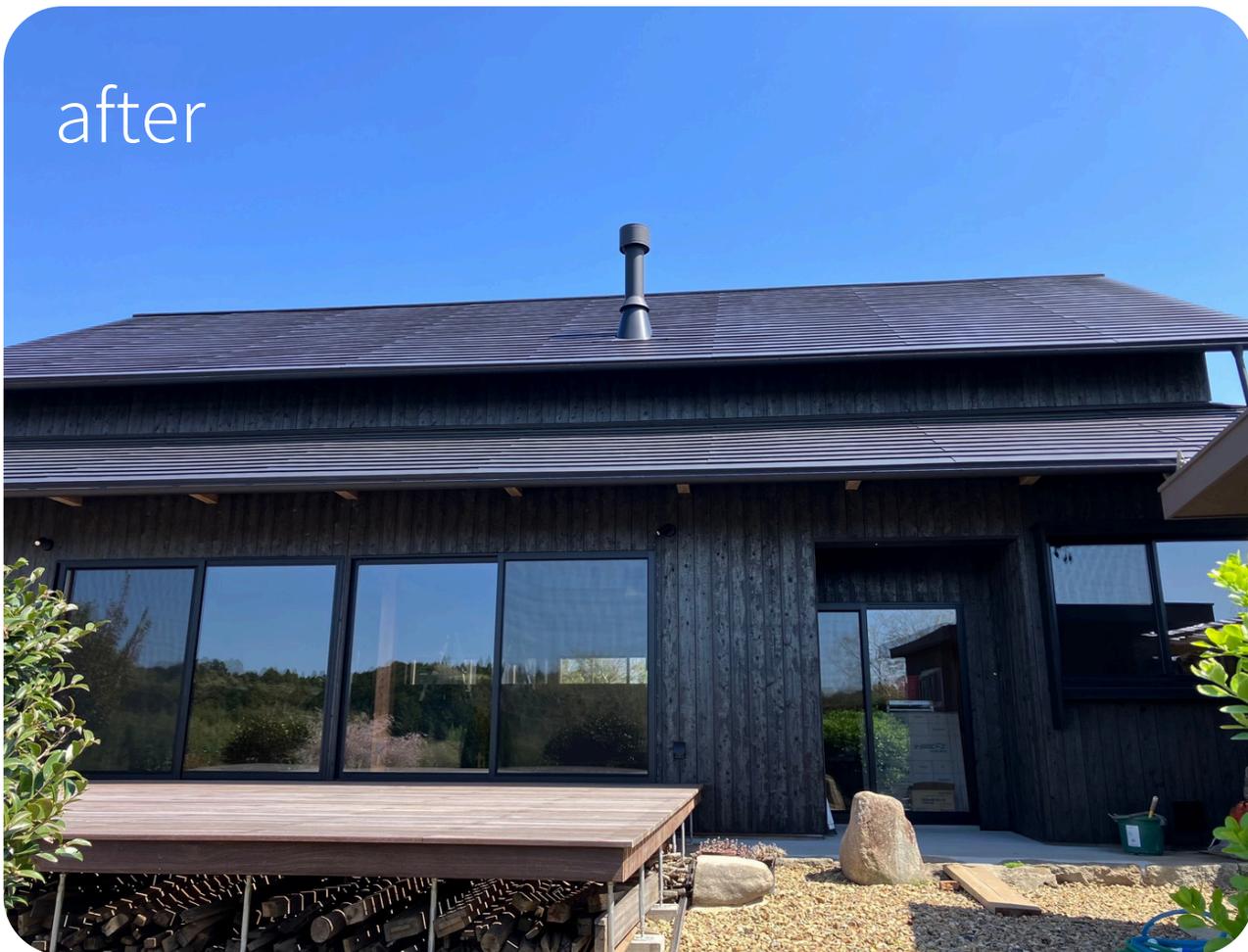
before



株式会社 造家工房では
三重県登録耐震診断者による
おうちに合った耐震補強を
計画設計し、補強工事まで
一貫して行います。

ご紹介する工事はすべて必要というわけでは
なく、耐震補強計画に基づいて、ご要望をお
伺いしながら決めていくものです。

after



伝統を受け継ぐ大工の家
～木と土壁のデザイン住宅～

株式会社 造家工房

所在地 : 三重県亀山市能褒野町25-23

電話番号 : 0595-96-8102

サイト : <https://zouka.net>



施工事例



LINE公式



@zoukakoubou

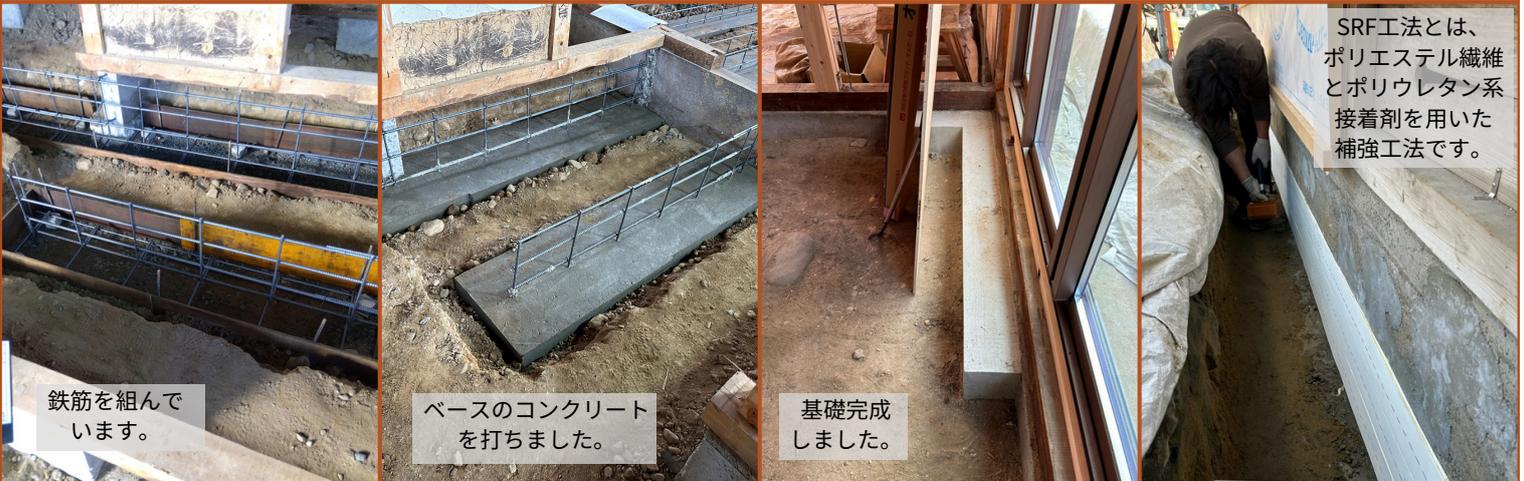
1 解体工事

不要な部分の解体を行います。屋根替えをする場合は、瓦とともに土も落としていきます。工事を進めていく中で、木材が虫に食われて傷んでいたたり、腐朽が激しい箇所が見つければ、相談しながら解体をしていきます。



2 基礎工事

ひび割れ、劣化している古い基礎には鉄筋コンクリート等を添えて補強します。昔ながらの玉石基礎や耐力壁を新設する箇所には新たに基礎を設けます。コンクリート基礎で劣化が少なく、高さが十分にある場合はSRF工法も可能です。



3 補強工事<腐朽部分取替え>

木材が湿気や雨漏れにより腐っていたり、虫に食われて弱っている部分があれば、取り替えます。土台、柱には防蟻性のあるヒノキを使いますが、その他の木材には防蟻処理を行う場合があります。



4 補強工事<接合金物>

金物の補強は、耐力壁とセットで行います。強い壁には強い金物が必要です。金物には、L型接合金物、ホールダウン金物などがあり、ホールダウン金物は基礎にボルトを埋め込み、基礎と土台をつなぎます。



5 補強工事<耐力壁>

耐力壁は既存壁を補強する場合と、新たに設ける場合があります。下は基礎、土台、上は桁、梁などが必要で、なければ新たに設けます。基本的には構造用合板を張りますが、ほかにも筋かいや、ステンメタルブレース等があります。



6 補強工事<水平構面>

構造用合板を張ったり、火打梁やステンメタルブレース等を取り付けます。既に火打梁が設置されている場合は、受ける梁や桁といった材木と火打梁に腐朽がなく、金物に劣化がなければそのまま利用する場合があります。



7 屋根替え工事

昔ながらの瓦土葺きから、瓦棧葺きやガルバリウム鋼板葺き等とすれば、屋根が軽くなり耐震性が上がります。構造用合板を下地に使用することで、水平構面の補強もできます。



8 樋工事

軒樋、縦樋を交換します。屋根工事をする場合、樋工事を行うことが多いです。既存の樋が欠落、割れ等の劣化がある場合は必ず交換します。



9 外部仕上げ工事

補強するために解体した部分を、対候性のある外壁材で仕上げます。杉板、ガルバリウム鋼板が多いです。断熱材も合わせて施工することで省エネ性能も上がります。



10 内部仕上げ工事

補強するために解体した部分や、新設した壁などを仕上げます。壁はラスボード下地土塗りや板張り、石膏ボード下地クロス張り等があります。床にはフローリングも張っていきます。



11 ほか付帯工事、サッシ工事、設備工事

給湯器、キッチン等の住宅設備の取替えもすることが多いです。サッシは従来のアルミサッシから樹脂サッシに、ガラスはシングルガラスからペアガラスに、給湯器は高効率の製品やオール電化にすることで省エネ性能も上がります。



12 完成

すべての工事を終え、完成したらお引渡しをします。
住宅設備の取替えがあれば、取扱いのご説明をします。お引越された後も、なんでもご相談ください。



木と土壁のデザイン住宅

zouka

Nobono Shokunin-mura Kameyama
Mie, JAPAN